



情報入手方法の準備を



災害時は、最新の情報に基づいて行動することが重要です。情報を早く入手できるように、今のうちから準備をしておきましょう。

テレビのdボタンを活用！

災害情報は、テレビやラジオから入手できます。テレビリモコンの「dボタン」からは、地域の災害に関するさまざまな情報を確認できます。

事前登録で便利に

災害に関する情報を迅速・適切に町が提供するサービスです。



●緊急配信メール



●伊奈町LINE
公式アカウント

1月から 危機管理課Xアカウントが始動します！

災害・防災・消防・交通防犯など、危機管理に関するさまざまな情報を迅速に発信していきます。



日 1月25日(日)
8時30分～12時 ※原則、雨天決行。
場 ゆめくる

どなたでも見学・体験ができます。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

内 避難所開設・運営訓練、給水訓練、炊き出し訓練、初期消火・煙体験訓練、地震体験訓練、防災講話、自衛隊・消防・警察車両の展示



防災アンケートに ご協力ください

町では、町内の防災力向上のため、防災に関するアンケートを実施しています。アンケートに答えながら、防災意識を見直してみませんか？



備えを充実させて、心にゆとりを



絶対に必要なトイレ対策

大地震が起きた後は、配管や浄化槽が破損し、使用できない可能性があります。しかし、トイレを我慢するストレスや不安感が重なると体調を崩してしまうこともあります。

災害時に自身と家族の健康を守るためにも、非常用トイレを備蓄しておきましょう。

① 備蓄の目安

1日最低
5回 × 家族の
人数

7日



生命をつなぐ水とごはん

どんな時でも、水や食べ物は体力の資源です。普段の食料を少し多めに買い置きし、古いものから使って、消費した分を買い足すことで、常に一定の食料を家庭で備蓄しておく、ローリングストック方法も有効です。

① 備蓄の目安

1日
食料: 3回
飲料水: 3ℓ

7日



非常用持ち出し品と備蓄品

非常用持ち出し品

3日分の備えと避難場所での暑さ・寒さ・雨風対策、避難のための明かりの確保などを考えて、防災リュックに詰め、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

備蓄品



約1週間、自宅や避難所で生活するための備えを、家屋が被災しても取り出しやすい場所に保管しておきましょう。

町ホームページでは、中丸葵さん（伊奈町魅力発信大使）の防災リュックや町の備蓄資機材を紹介しています。

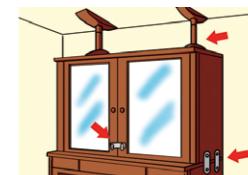


減災は「備え」が重要

災害発生時の被害を最小限にするために、減災の取り組みを普段から取り入れましょう。

家具の固定や感震ブレーカーで安心度アップ

家具の固定や窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付することで、自宅内の安全対策ができます。また、災害時に電気の供給が再開された際に起こる通電火災を防ぐためには、感震ブレーカーの設置が有効です。



防災マップ

防災マップは、災害発生時に想定される状況や避難場所などの重要な情報を掲載しています。役場やけんかつ・ゆめくる出張所で配布しています。

避難者カード

避難者カードを事前に作成しておくことで、災害時の避難所受け付けを迅速に行うことができます。

